

地域事務所へのキャッシュレス決済対応レジの導入について

第2次中野区地域情報化推進計画改定版に基づき、全地域事務所へのキャッシュレス決済対応レジの導入に向けて、令和6年6月より旧庁舎にて利用していたキャッシュレス決済対応のレジを南中野、東部、野方地域事務所に移設し、キャッシュレス決済への対応を試行的に行っている。これまでの利用実績と検討状況について報告する。

1 利用実績

(1) 本庁舎でのキャッシュレス決済の推移

	決済件数	電子決済件数	利用割合	利用内訳			
				交通系電子マネー	クレジットカード	その他電子マネー	コード決済
令和4年度年間	132,911	12,327	9.3%	100%	—	—	—
令和5年7月 ^{※1}	9,844	1,412	14.3%	66%	20%	14%	—
令和5年10月 ^{※2}	10,422	2,468	23.7%	39%	24%	21%	16%
令和6年5月 ^{※3}	8,904	3,157	35.5%	30%	30%	19%	21%

※1 クレジットカード、電子マネー（楽天Edy、iD）に対応

※2 セミセルフレジ2台を先行導入、コード決済（PayPay、楽天ペイ、auPAY、d払い、Jcoin）、電子マネー（nanaco、Quickpay）に対応

※3 新庁舎移転（令和6年5月7日）より戸籍住民課窓口を全台セミセルフレジに切り替え（3台）

(2) 地域事務所でのキャッシュレス決済の推移(南中野、東部、野方地域事務所)

	決済件数	電子決済件数	利用割合	利用内訳		
				交通系電子マネー	クレジットカード	その他電子マネー ^{※2}
令和6年6月 ^{※1}	2,650	106	4.0%	63%	27%	10%
令和6年7月	3,242	138	4.3%	70%	18%	12%
令和6年8月	2,267	106	4.7%	59%	30%	11%

※1 令和6年6月より試行運用を開始

※2 旧庁舎で使用していたキャッシュレス決済対応レジ3台を移設：交通系電子マネー、クレジットカード、電子マネー（楽天Edy、iD）に対応

2 地域事務所へのキャッシュレス決済対応レジの導入について

地域事務所におけるキャッシュレス決済の利用状況は本庁舎の戸籍住民課窓口と比較すると低率ではあるが、本庁舎における交通系電子マネーの導入初年度（令和元年度）の利用率が5.4%であったことから、今後、認知されていくことで伸びていくと見込んでいる。

以上の試行導入の実績及び今後のキャッシュレス決済の日常生活への浸透も鑑みて、全地域事務所へキャッシュレス決済対応レジの導入を行う方向で引き続き検討を進める。

3 今後のスケジュール(予定)

令和7年 6月 キャッシュレス決済対応レジの調達

令和7年 11月 全地域事務所へのキャッシュレス決済対応レジの配備